

# せんせきしょう (株)千石匠

墓石・石材加工・土木・造園工事一式請負

茨城県桜川市真壁町下谷貝2004-2

TEL.0296-54-1586 FAX.0296-54-1972

☎ 0120-158-661

http://www.ishinoyado.co.jp/

対談

代表取締役

専務取締役

インタビュアー

千々松 滋・広茂 × 角 盈男

[野球評論家]



INTERVIEW

SHIGERU CHIJIMATSU・HIROSHIGE CHIJIMATSU × MITSUO SUMI

## 国産石の魅力と技術で——眺めるほどに味のある『和のあかり』

のはほとんど倒れず被害を最小限に留めることができたとのこと。その要因としてはどのようなことが挙げられますか。

千々松(広茂) 最近では中国などの安価な輸入石材を扱うようになり、また、販売と施工を合理化する傾向にある中で職人の技術も育たなくなっているのが実情です。しかし当社では以前から業界では珍しいくらい若い職人育成に力を注いでおり、現在も五人の若手が活躍してくれています。熟練した職人から伝授された技術は確実に受け継がれますから、当然ながら施工品質の良さもズバ抜けていると誇りに思っています。大震災の折には各方面から「なぜお宅の墓石だけ倒れていないのか？」と多くの問い合わせを頂きましたが、「時代の大きな流れに惑わされることなく本物にこだわり続けているからこそ」と自負しており、業界の信頼性を向上させるために更に精進し続けなくてはと肝に銘じているところです。



角 平成二十一年十月号以来、二度目のご登場となる(株)千石匠さん。昭和六十二年の創業から国産石にこだわった事業を展開されているわけですが、改めて御社の業務内容についてお聞かせ頂けますか。

千々松 《年季と熟練を要した本物の職人の技》というコンセプトを掲げ、墓石の加工から施工工事・リフォーム、更には墓地墓苑・霊園の販売、戒名彫り、外構・造園の設計及び工事、石塀・門柱・敷石・石畳の販売、鳥居・氏神様・灯籠・庭石の販売など、石材に関することなら幅広く手掛けています。

角 先の東日本大震災ではこの辺りでも多くの墓石が倒壊したそうですが(対談日:平成二十三年四月二日)、御社が施工されたも

石は日本の風土に沿うようにできていることの証だと思えますね。特に水の抜けやすさは中国産の石とは比べものにならないくらい優れています。

角 現在、真壁石を使った著名な建造物としてはどのようなものが挙げられますか。千々松(広茂) 迎賓館、日本銀行、楠正成像の台座を筆頭に、つくばセンタービルやカシマサッカースタジアム前の巨大サッカーボールなど多数ございます。

角 とここで、御社では国産石と熟練職人があってこそ成せる技とも言えるべき、オリジナル照明『和のあかり』が評判になっていますね。これを手掛けようと思われたきっかけは何だったのでしょうか。

千々松 一般的に石はどうしても墓石のイメージが強いのですが、もっと柔らかく身近に親しむことができる魅力を多くの方に知って頂きたいと思ったからです。お客様の要望に合わせて職人が五感を研ぎ澄ませながらアイデアと技術を集結させ、一つ一つ丁寧に手作りしています。玄関や庭の灯りとして、室内のインテリアとして温もりを身近に感じて頂ければ幸いですね。

角 その場の雰囲気気に自然に溶け込む独特のたたずまいといい、大胆かつ繊細なデザインといい、まさに芸術作品と言えるも

のばかりですね。お買い求めになるのは地元の方が多いいのですか。

千々松(広茂) これまでは一人で何個もご注文下さるリピーターなど地元の方が中心でしたが、現在ではホームページをご覧になって全国からお問い合わせを頂くケースも増えていきます。東京で開催される展示会にも出品して好評を得るなど手応えは相当ありますので、今後もどんどんアピールしたいと意気込んでいます。

角 本日は幻想的な『和のあかり』をバックに対談させて頂き、私もすっかり虜になってしまいました(笑)。最後に将来の展望について社長より一言お願いします。

千々松 職人は今も昔も自分の手に掛けたこだわりの技術がお客様に喜ばれてこそ、心からの幸せを感じるものです。これからも職人魂を大切にしながら、多くの方に石の魅力を広げてまいりたいですね。

角 日本の伝統技術を後世に伝えるためにも、御社の更なる発展を期待せずにはいません。ぜひとも頑張ってください。

### ① INFORMATION 職人ならではの技を体感して下さい

